

室原会だより

Vol.116

# ふれあい

春号  
令和6年

(題字 室原亥十二)

入社式／新人研修  
新しい外来診療  
菊南病院ロビーガイド  
ドクター古庄のサイクリング紀行  
城野憲二Dr.の「徒然の記」  
うりぼう／グループホームきくなんだより  
...and more



菊南病院  
入職記念  
2024.4.1

室原内科・小児科

〒862-0949  
熊本市中央区国府1丁目11番9号  
Tel 096-364-3080 Fax 096-366-4668

菊南病院

〒861-5517  
熊本市北区鶴羽田3丁目1番53号  
Tel 096-344-1711 Fax 096-344-1726

水前寺高齢者複合施設

〒862-0949  
熊本市中央区国府1丁目3番15号  
Tel 096-364-1210 Fax 096-364-1221

グループホームきくなん

〒861-5517  
熊本市北区鶴羽田3丁目11番15号  
Tel 096-345-2260 Fax 096-345-2261

# 令和6年度 入社式・新人研修

## ～入社式～

桜が満開を迎え、温かい1日となった4月1日月曜日。

多くの企業が新たなスタートを切る中、菊南病院でも令和6年度入社式を開催しました。今年度は、医師1名、看護師5名、リハビリテーション部10名、事務部1名の総勢17名の新入職員が入職しました。

室原院長より「菊南病院は開設して51年目になります。仕事の中で患者様、そのご家族1人1人に幸せを与えていると実感してもらい、皆さんのキャリアアップを組織の中で作っていってもらいたいと思います。」と祝辞を贈られました。

次に新入職員代表として看護部の六ヶ所充さんが「新人らしく何事にも意欲をもって前向きにチャレンジし、常に患者様、患者様ご家族に寄り添う心を忘れることなく、毎日過ごしていきたい。」と決意を述べてくれました。今年度もフレッシュな仲間を迎える、職員一丸となって、さらに日々業務に取り組んでいきます。

(総務課 森本)



～コロナ禍明けの久しぶりの大規模な入社式～

入社式が終わってから、早速新人研修が始まりました。

座学でしっかりとメモを取りながら真剣な表情を見せる新入さんたちを見ていると自分自身も身の引き締まる思いがしました。

それぞれ、各学校で学んだことを活かしながら新しい学びを吸収しようとする目はとても輝いています。実技の時間はドクター指導の元、救命救急の蘇生法の訓練が行われました。新入職員の1人は、「学校で勉強したので、万が一の時は自分が率先して救命救急できると思っていましたが、訓練とは言え、実技で振り返ってみると自分にはまだまだ足りないことが多いと実感しました。これからさらに勉強し、人の役に立てる人材になりたいと心から思いました。」と、なんとも心強い言葉を聞かせてくれました。

(総務課 猪口)



～ドクター指導の元、救急蘇生法を実技訓練で学びます～

～真新しい制服に着替え、研修を受けます～

## 2024年ふれあい 春のお品書き



- ・卵巻き寿司/いなり寿司
- ・鰯の煮付け(付:茄子、生麩)
- ・カブのあんかけ
- ・すまし汁
- ・抹茶ババロア



- ・桜散らし寿司
- ・天ぷら盛り合わせ
- ・酢味噌かけ
- ・若竹汁
- ・ひな祭りケーキ



- ・散らし寿司/ゆかり御飯
- ・鰯の西京焼き/鶏肉のバジル風味ソテー
- ・ホタテのフライ/煮物
- ・だし巻き卵/筍の木の芽和え
- ・フルーツ(苺)/桜ゼリー
- ・すまし汁(手まり麩)



お花見弁当

# 新しい外来診療がはじまります！

2024年4月より、次の外来診療が新しくスタートします。

## 糖尿病専門外来

野上 哲史先生

日本糖尿病学会専門医、指導医  
日本内科学会認定医  
日本医師会産業医

### 診察日

	月	火	水	木	金	土
AM	—	—	—	○ 第2・4	—	—
PM	○	—	—	—	—	—

## 整形外来

栗巣野 誠先生

日本整形外科学会専門医  
日本整形外科学会  
日本リウマチ学会  
日本膝関節学会

### 診察日

	月	火	水	木	金	土
AM	○	○	—	○ 第1・3・5	○	○
PM	—	—	—	—	—	—

不安なこと、気になる症状などありましたら、  
お気軽にご相談ください。



## 菊南病院ロビーガイド！

—ご来院の際の要チェックポイント—



「花」  
作家：牧野慎也（まきの しんや）  
2022年／画用紙・クレヨン



デジタルサイネージ  
(電子掲示板)を設置

### アール・ブリュット(Art Brut)「生(き)の芸術」の展示

菊池市泗水町にある「障がい者支援施設サニーサイド」では、利用者の芸術活動プログラムとして絵画や造形の制作を行い、展示会なども開催しています。また、個人や企業に向けて作品を貸し出すレンタルアート事業も行っており、このレンタル費は製作者の収入に充てられます。菊南病院では、障がい者の自立と社会参加への支援の一環として、レンタルアートの利用・展示をはじめました。

ご紹介文と合わせて、ご来院の際はぜひご鑑賞ください。

待ち時間に、菊南病院の案内や診察について、天気予報や簡単にできる体操など幅広くお楽しみいただける内容でお届けしています。

コンテンツは随時追加予定！また総合待合室にも設置予定です。

# ドクター古庄のサイクリング紀行

菊南病院 副院長  
古庄 伸行

## 57. 忘れられていた「仏原騒動」

阿蘇の高森町から県道319号線で南外輪山の険しい峠道を越えて山都町の国道218号線に突き当たる清和村の集落を「仏原（ほとけばる）」と呼びます。緑豊かなその集落では、江戸時代の初頭、凄惨な事件が起きました。

延宝2年(1674)の正月が過ぎたある日、仏原集落の地士（在郷土着した武士）・結城半太夫、十太夫の兄弟の家に、親類の者や近隣の村人など50名余りが武器を揃えて集まって騒ぎ、その様子を聞きつけた村の庄屋が直ちに矢部の役所に報告したところ、役人や地域の御家人などの手勢が駆けつけて騒動となり、結城兄弟らは激しく抵抗し、兄弟ら数名の死者が出て、残りの者たちは捕えられ、多くが死罪となってしまいました。役所はこの騒動を「切支丹の反乱」として処理しましたが、その実は、藩の財政ひつ迫のために長年過酷な年貢を架せられた村人たちの不満が爆発した結果の一揆の決起だったと見られています。

この事件はその後300年にわたって人々から忘れ去られていきましたが、昭和46年になって事件当時の庄屋の子孫にあたる人がこの事件の存在を広く明らかにするために供養塔を建立しました。そして、県出身のSF作家・梶尾真治氏がこの事件をモチーフにしたSF歴史小説「おさご幻奇譚一

むかし山都町で」を今年の1月から熊日新聞に連載（毎週・金曜日）をしているのです。

今年の連休の初日、ロードバイクを漕いで南阿蘇経由で峠を越えて仏原騒動の供養塔を訪ね、当時の集落の状況に想いを馳せながら事件で犠牲になった若い村人たちの冥福を祈ってきました。



事件のあった地に建つ供養塔

# 徒然の記

菊南病院  
城野 憲二

## 徒然の記 〈その拾参〉 宇宙人はいる。だけど・・・の段。

徒然の記（その九）では宇宙論について書いた。ところで宇宙人はいるのだろうか？

この問いほど無意味な質問はない。何故なら宇宙人は現に今ここにいるからである。そこにいるあなた。そう、あなたの自身が宇宙人なのだ。人間自身がこの宇宙に存在する知的生命体、即ち宇宙人に他ならないのである。だから宇宙人は確かにいる。

この質問は次のように問われなければならない。人類以外にこの宇宙に知的生命体はいるのか？

否定的な、つまり人類以外にはいない、という意見の根拠は幾つか有る。例えば地球上に生命が現れ人類にまで進化するには、余りにも偶然の要素が多く過ぎたというもの。確かに一理あるが、この説を正しいとすると我々人類の存在自体が否定されてしまう。つまりどれほど稀有な偶然の結果であろうと、人類は現に今ここに存在しているのだから。勿論、この広大な宇宙に知的生命体が人類だけという可能性も全くのゼロではないのだが。

多くの科学者は宇宙には人類以外にも知的生命体がいると考えている。私もそう思う。

ここで問題になるのが、今のところ人類以外に宇宙人の存在を示す証拠が皆無であるという事実だ。勿論これは科学の話である。オカルトの世界の戯れ言ではない。

人類が本当の意味での知性を持つようになったのがいつ頃のことなのか、詳しいことは分かっていないが、数十万年前と考えられている。科学技術に関して言えば、200年前までは電気もなければ自動車もなかった。100年前までは空を自由に飛ぶことさえ出来なかつた。逆に言うと、40億年もの地球の歴史にあって、知性に目覚めた人類が科学技術を発達させる為にはほんの僅かな年月しか必要ではなかったということである。これに比べれば、宇宙の年齢の130数億年という時間はとても長い。地球の年齢は40数億年であるが、太陽系の年齢でも45億年である。130数億年という宇宙の年齢を考えれば、その間

に太陽系のような恒星系の惑星上に何らかの生命が発生し、知性を持ち、科学技術を発達させる為の時間は有り余るほど有るということになる。

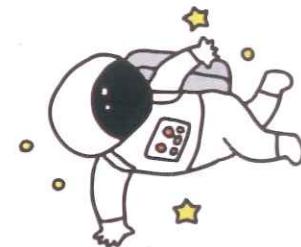
時間の問題だけではない。宇宙全体を見渡せば太陽系のような恒星系が他にも存在する可能性は大いに有る。実際に最近の宇宙観測技術の進歩の結果、地球のような生命に適した惑星を持つ恒星系が数千も発見されている。そして我々の銀河系だけでも2,000億個の恒星が有り、宇宙全体には銀河系のような天体系は数百兆、数千兆は有ると言われている。

これだけの時間と数が有れば、仮に人類の存在が奇跡の積み重ねであったとしても、他に幾らでも同様な事が起き得ると考えることに何ら問題はない。

では何故宇宙人は我々の前に現れないのか？

主な理由の一つは、距離の問題と言われている。夜空に無数に輝く星々（恒星）であるが、宇宙空間に恒星が存在する密度を分かりやすく言うと太平洋にスイカが2個浮かんでいる程度にスカスカなのだ。例えば太陽の隣の太陽（恒星）でも約40兆km、即ち約40,000,000,000,000km離れており、そこに行くには光の速度でも4年程かかる。これを時速250kmの新幹線で行くと1,800万年かかる。1,800年ではない。18,000,000年である。太陽の隣の星でもこの距離である。果たして広大な宇宙の空間と時間を克服できる科学理論や技術が存在するのだろうか？

もっとも、宇宙人を見ない最大の理由は宇宙人自身にあるようだ。仮に距離や時間の問題を克服できる科学理論や技術があったとしても、そこまで科学が発達する前に、悲しいかな知的生命体は地球のようなチッポケな惑星の上で争い、殺し合い、自滅してしまう運命にある可能性が高い。それもほんの一握りの愚か者のせいだ。



# うりぼう

～施設の楽しい行事を紹介します。～



水前寺高齢者複合施設  
グループホーム 鈴の音  
水前寺有料老人ホーム

2024・春

桜の名所の健軍自衛隊通りや近くの公園などにお出かけしました。素敵な笑顔満載です。



(3/26 花見弁当)

それぞれお菓子作りの工程は複合施設の広報誌「うりぼう」にて。



## \* グループホーム きくなん だより \*

ホームで採れたジャガイモを使って…



シチューとポテサラ♪

お花見✿



植木市見学へ出かけました(^^♪



豆まき



桜蒸しパン作り



今年も鯉のぼり見学へ行ってきました!



# ◆外来担当医当番表◆

●急患の方以外全て予約制です

2024年5月～

菊南病院

診察時間	診察日	月	火	水	木	金	土
午前		室原	赤星	室原	梅田	赤星	室原
9:00～12:00		古庄	加古	山縣	加古	加古	山縣(第1・3)
受付(8:30～11:30)		南	一	久重	南(第1・3・5) 野上(第2・4)	福島	南(第2・4)
		栗巣野	栗巣野	一	南(第2・4) 栗巣野(第1・3・5)	栗巣野	栗巣野
午後		野上	赤星	室原 誉伶 (第3または第4)	室原	赤星	
13:00～17:00		一	山縣	山縣	一	古庄	一
受付(12:30～16:30)		南	一	久重	福島	福島(第3または第4以外) 室原 誉伶(第3または第4)	

○受付時間：月～金 9:00～12:00(受付8:30～11:30まで) 13:00～17:00(受付12:30～16:30まで)  
土 9:00～12:00(受付8:30～11:30まで)

○休診日：日曜・祝祭日・年末年始等 ※但し、急患の場合はお電話でご相談ください。

★都合により受付終了時間が早まる場合がございます。ご了承くださいませ★

# ◆外来担当医当番表◆

令和6年5月現在

室原内科・小児科

	月	火	水	木	金	土
午前	室原亥十二	室原亥十二	室原亥十二		室原亥十二	室原亥十二
	梅田Dr	梅田Dr	高血圧外来 (梅田Dr)	休診	梅田Dr	長島Dr
					腹部エコー検査 (第4)	腹部エコー検査 (第2)
午後	室原亥十二	室原亥十二	室原亥十二		室原亥十二	室原亥十二
	梅田Dr	城野Dr	喘息外来 (五江淵Dr)	休診	心臓外来 (室原良治Dr)	心臓外来 (室原良治Dr)

☆動脈硬化検査：隨時

●診察日・時間：月～土曜日（木曜日を除く） 午前8:30～午後6:00

●休診日・時間：木曜日・日曜日・祝祭日・年末年始等

今年もたくさんの新入職員を迎えるました。新人研修もコロナ禍から久しぶりの集合研修の形で執り行うことができ、より絆も深まつたのではないかと感じます。今号の表紙は、恒例となつた新入職員たちによる「記念アート」です。今年は僕も瞬きくらいの間に散つてしまつた桜の代わりに、院内を明るく照らしてもらいます。

新しい春、春号もお知らせが多めです。外来の診療に「糖尿病専門外来」「整形外来」が加わり、より広く深く皆さまの健康に寄与できる病院となりました。また、病院の顔であるエントランスロビーの新しい試みもレポート。デジタルサイネージはより活き活きとした菊南病院を皆様に感じていただくため、楽しいコンテンツも随時更新予定。ちらりと目に入つた時に何か心に留まるものになればいいなあと思います。

「サイクリング紀行」山都町が舞台。いつもいつも知らない歴史に感慨深くなります。普段何気なく通るその辺りの道にも、ある場面を切り取つたら物語があるのではないかと、空間に対する歴史の層の厚みを感じました。良いことも、良くないことも、人の歴史は物語です。

「徒然の記」宇宙人に迫ります。中学生の時先生に「宇宙人はいる、外の星から見たら私たちも宇宙人」と聞いて衝撃を受けたことがあります。今回は「ではなぜ出会えないのか？」の謎が解けます。ただ、とんでもない時間・距離・空間を有して深々と横たわる宇宙に圧倒され、文字通り底が見えない宇宙への恐怖を感じざるを得ません。

グループホームや水前寺高齢者複合施設でも季節のお仕事をしていると、4月のこの時期は「また新しい始まつていく感覚」にそわそわします。新社会人となる皆さんの緊張感や初々しさ、異動に伴う出会いや別れ：色々なことがこのタイミングで変わるので、新鮮な気持ち、何か急くような気持ち、感情も体も忙しいのです。この感覚は何と毎年やってきます。立場や状況は変われど、新年度には新しい風が、かき回して、これから梅雨、夏と体調管理の難しい時期に季節は移っていきますが、それぞれを少しでもそれらしく、健康第一に楽しんで過ごしましょう。

編集後記

編集委員長 高橋 良子